



# 調査要項

## 1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受け全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的实施に資することを目的とする。  
(年4回発行)

## 2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された全 530 商工会のうち、山口県は 10 商工会 150 企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員 20 名以下、小売業及びサービス業は従業員 5 名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1 商工会地域につき 15 企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業(サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス)の 4 種類とする。

## 3 調査対象期間及び調査時点等

- ・ 調査対象期間及び調査内容は平成 30 年 10-12 月期における前期及び前年同期に対する景況感(現況)と来期(平成 31 年 1-3 月期)における景況見通しを調査した。
- ・ 調査は平成 30 年 11 月 5 日から 11 月 15 日の期間に実施した。
- ・ 調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

## 4 回答企業数内訳

業 種	対象企業	構 成 比	回答企業	回 答 率
製 造 業	29	19.3%	29	100.0%
建 設 業	32	21.4%	32	100.0%
小 売 業	43	28.7%	43	100.0%
サービス業	46	30.6%	46	100.0%
合 計	150	100.0%	150	—

## 5 業況判断指標

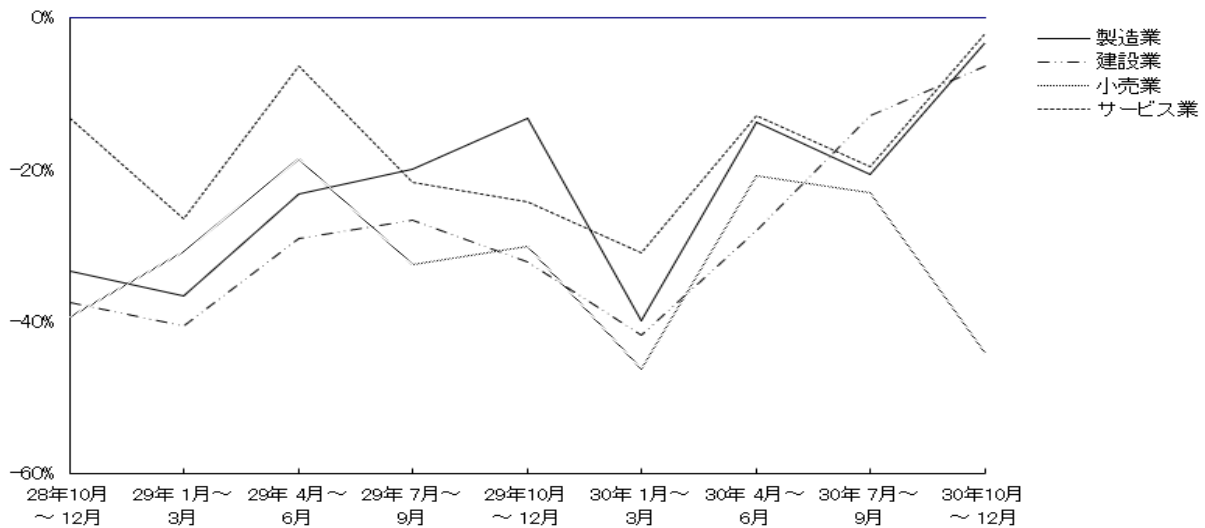
景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index (DI) を用いた。DI は前年同期(基準)に対する変化の方向については、上昇(好転)とする回答割合から低下(悪化)とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。

※DI がプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数(DI ゼロ)の場合は変化がないことを示す。

# 1. 山口県 全産業

## 1 売上(完成工事)額の推移—前年同期比—

35 山口県→G35 山口県-9→shtG001

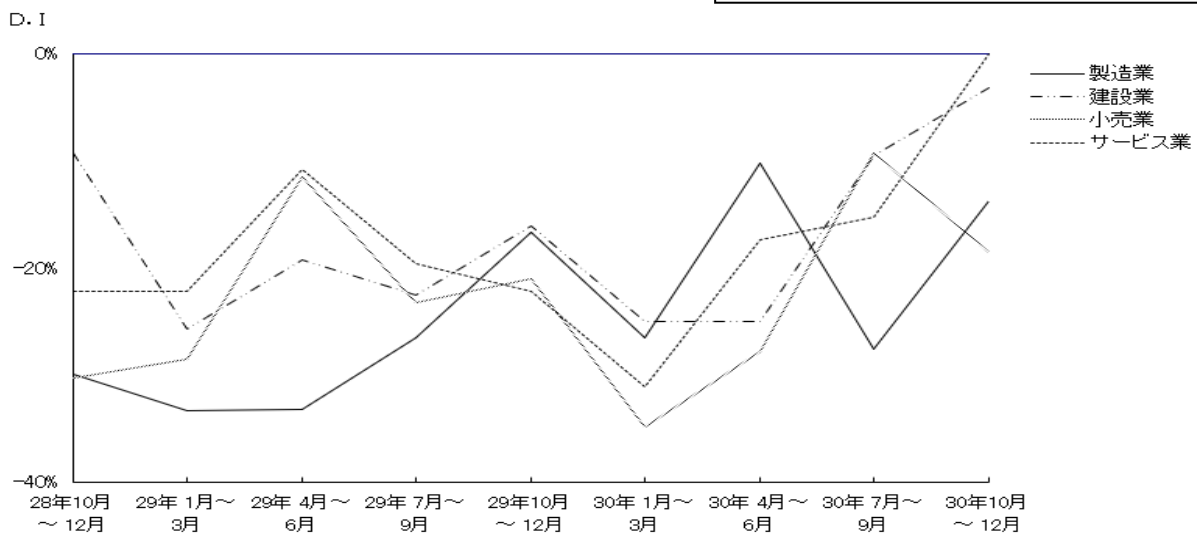


**DI値** 製造業 -3.4(前期は-20.7、前年同期は-13.4)、建設業 -6.4(前期は-12.9、前年同期は-32.2)、小売業 -44.2(前期は-23.2、前年同期は-30.2)、サービス業 -2.2(前期は-19.6、前年同期は-24.4)

**業況DI値** 製造業 -24.1(前期は-17.3、前年同期は-20.0)、建設業 3.3(前期は-9.6、前年同期は-16.2)、小売業 -31.0(前期は-13.9、前年同期は-21.9)、サービス業 -11.1(前期は-19.6、前年同期は-17.8)

## 2 採算の推移—前年同期比—

35 山口県→G35 山口県-9→shtG002



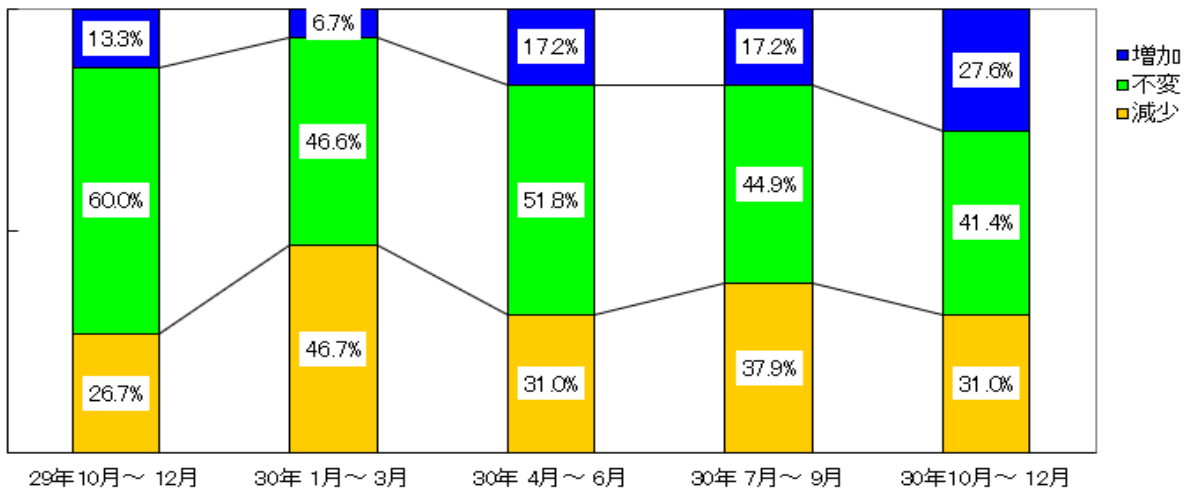
**DI値** 製造業 -13.8(前期は-27.6、前年同期は-16.7)、建設業 -3.2(前期は-9.6、前年同期は-16.1)、小売業 -18.6(前期は-9.3、前年同期は-21.0)、サービス業 0.0(前期は-15.3、前年同期は-22.2)

**資金繰りDI値** 製造業 -20.7(前期は-10.7、前年同期は-20.0)、建設業 0.0(前期は-6.3、前年同期は-3.3)、小売業 -21.4(前期は-9.3、前年同期は-14.2)、サービス業 -4.4(前期は-13.3、前年同期は-2.2)

## 2. 山口県 製造業

### 1 売上額の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-1→shtG003



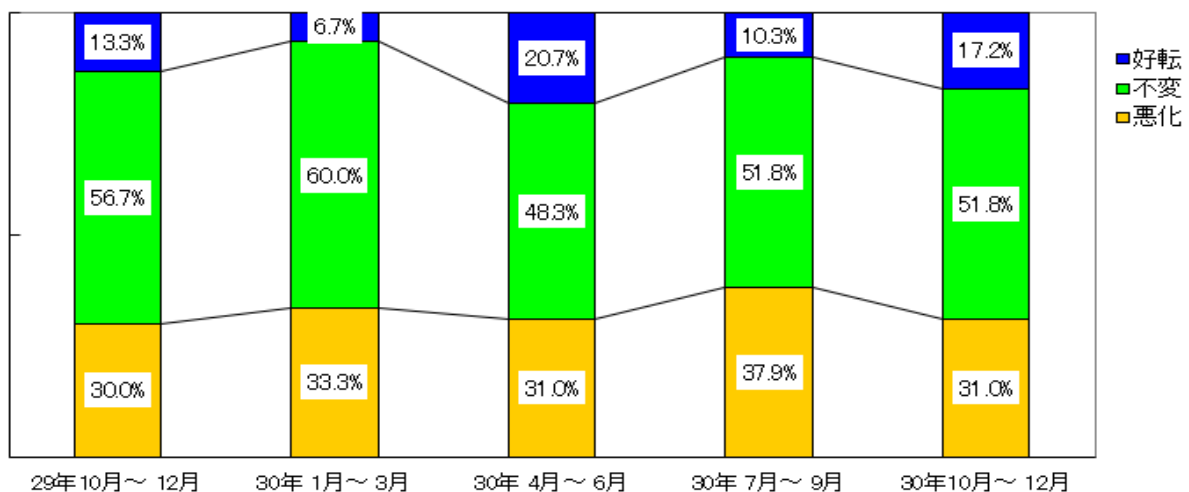
**前期と比較** 「増加」は24.1%（前期は17.9%、前年同期は13.8%）、「不変」44.9%（前期は42.8%、前年同期は62.1%）、「減少」31.0%（前期は39.3%、前年同期は24.1%）

**来期見通し** 「好転」27.6%（前期は10.3%、前年同期は13.3%）、「不変」48.3%（前期は65.6%、前年同期は60.0%）、「悪化」24.1%（前期は24.1%、前年同期は26.7%）

**その他のDI値** 原材料在庫数量-10.4（前期は-13.8、前年同期は-10.4）、製品在庫数量-7.1（前期は-17.8、前年同期は-10.4）、売上単価 0.0（前期は-10.4、前年同期は-13.3）、売上数量-6.9（前期は-24.1、前年同期は-10.0）

### 2 採算の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-1→shtG004



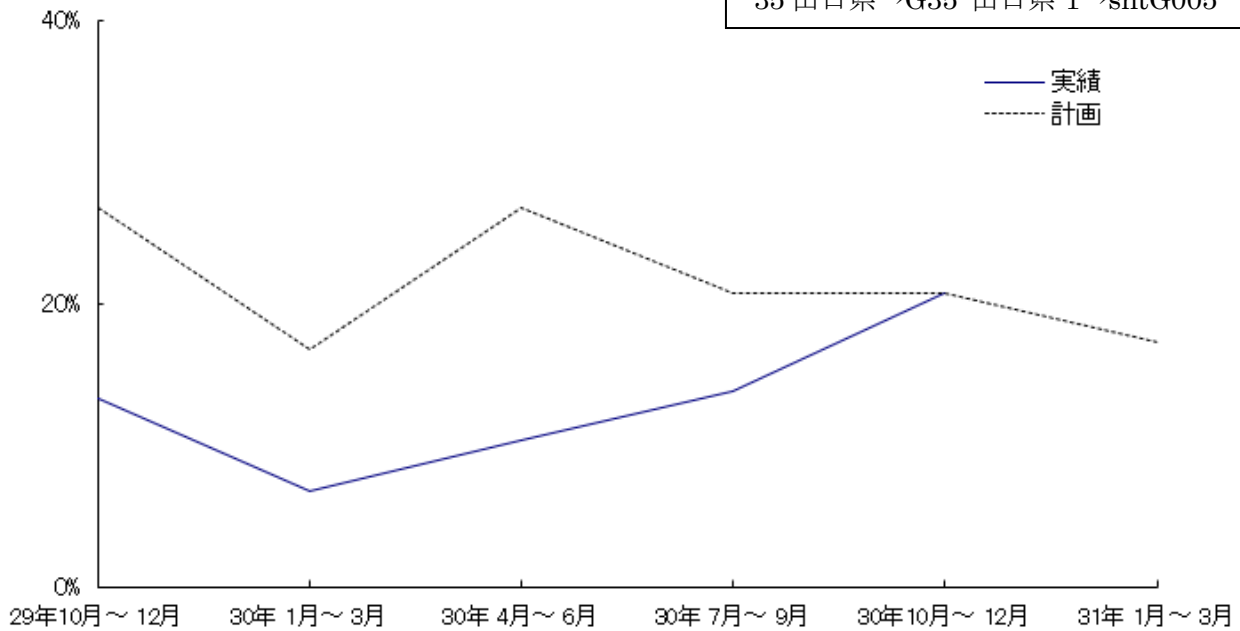
**来期見通し** 「好転」17.2%（前期は10.3%、前年同期は3.3%）、「不変」58.7%（前期は62.1%、前年同期は76.7%）、「悪化」24.1%（前期は27.6%、前年同期は20.0%）

**資金繰り** 前期と比較で、「好転」3.4%（前期は3.6%、前年同期は6.9%）、「不変」79.4%（前期は82.1%、前年同期は72.4%）、「悪化」17.2%（前期は14.3%、前年同期は20.7%）

**来期見通し** 「好転」13.8%（前期は3.4%、前年同期は3.3%）、「不変」72.4%（前期は82.8%、前年同期は76.7%）、「悪化」13.8%（前期は13.8%、前年同期は20.0%）

### 3 設備投資の状況

35 山口県→G35 山口県-1→shtG005



今期に新規設備投資を実施した企業 6 社(生産設備 5、車両・運搬具 1)、実施しなかった企業 23 社。来期に設備投資を予定している企業 5 社(生産設備 1、車両・運搬具 1、OA 機器 1)、予定していない企業 24 社。

設備操業率DI値は、-11.1(前期は-25.0、前年同期は-3.4)

### 4 経営上の問題点の状況(1位と1～3位)

35 山口県→G35 山口県-1→shtG006



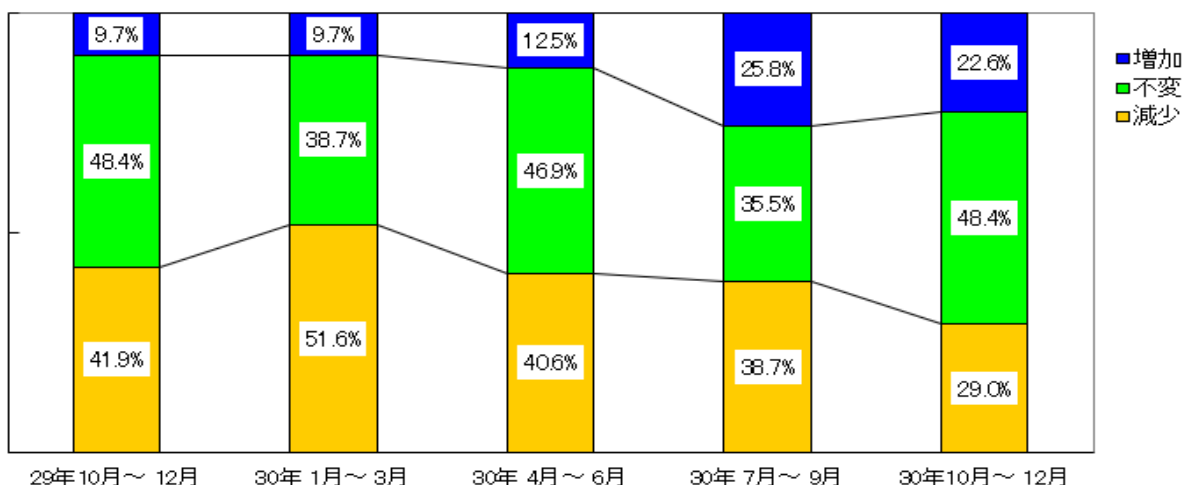
「需要の停滞」・「原材料価格の上昇」の割合が減少し、「製品ニーズの変化」・「熟練技術者の確保難」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」3.8%(前期3.8%、前年同期は7.4%)、「不変」96.2%(前期は96.2%、前年同期は92.6%)、「悪化」0.0%(前期は0.0%、前年同期は0.0%)

### 3 山口県 建設業

#### 1 完成工事額の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-2→shtG003



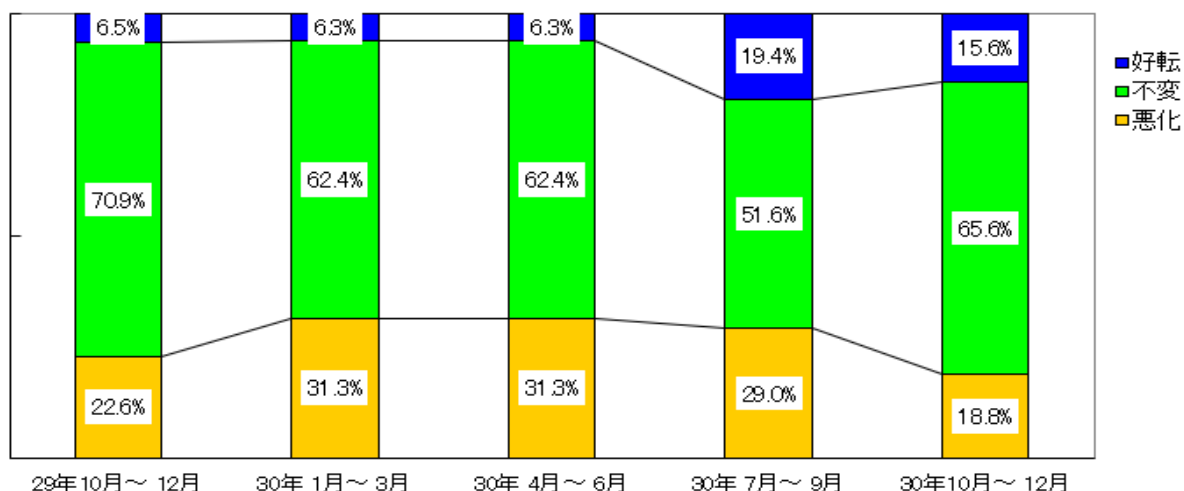
**前期と比較** 「増加」31.3% (前期は 27.6%、前年同期は 18.5%)、「不変」53.1% (前期は 44.8%、前年同期は 44.5%)、「減少」15.6% (前期は 27.6%、前年同期は 37.0%)

**来期見通し** 「好転」15.6% (前期は 9.7%、前年同期は 6.5%)、「不変」46.9% (前期は 51.6%、前年同期は 58.0%)、「悪化」37.5% (前期は 38.7%、前年同期は 35.5%)

**その他のDI値** 新規契約工事額-6.2 (前期は-9.7、前年同期は-25.8)、材料仕入単価 32.3 (前期は 28.2、前年同期は 13.8)

#### 2 採算の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-2→shtG004



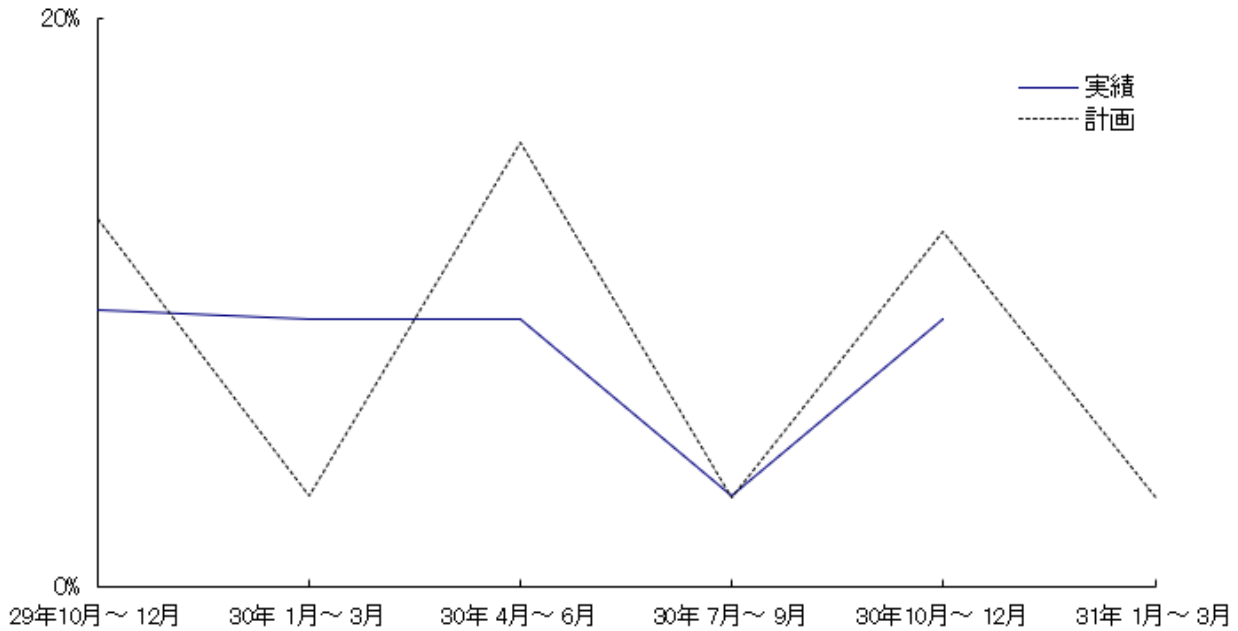
**来期見通し** 「好転」9.7% (前期は 3.2%、前年同期は 0.0%)、「不変」58.0% (前期は 67.8%、前年同期は 80.6%)、「悪化」32.3% (前期は 29.0%、前年同期は 19.4%)

**資金繰り** 前期と比較で、「好転」18.8% (前期は 19.4%、前年同期は 7.7%)、「不変」71.8% (前期は 70.9%、前年同期は 76.9%)、「悪化」9.4% (前期は 9.7%、前年同期は 15.4%)。

**来期見通し** 「好転」15.6% (前期は 10.0%、前年同期は 6.5%)、「不変」62.5% (前期は 73.3%、前年同期は 74.1%)、「悪化」21.9% (前期は 16.7%、前年同期は 19.4%)

### 3 設備投資の状況

35 山口県→G35 山口県-2→shtG005



今期に新規設備投資を実施した企業 3社(建物1、建設機械1、車両・運搬具1)、実施しなかった企業29社。来期に設備投資を予定している企業1社(土地1)、予定していない企業31社。

引合いDI値 -13.8 (前期は-13.8、前年同期は-7.4)

### 4 経営上の問題点の状況(1位と1～3位)

35 山口県→G35 山口県-2→shtG006



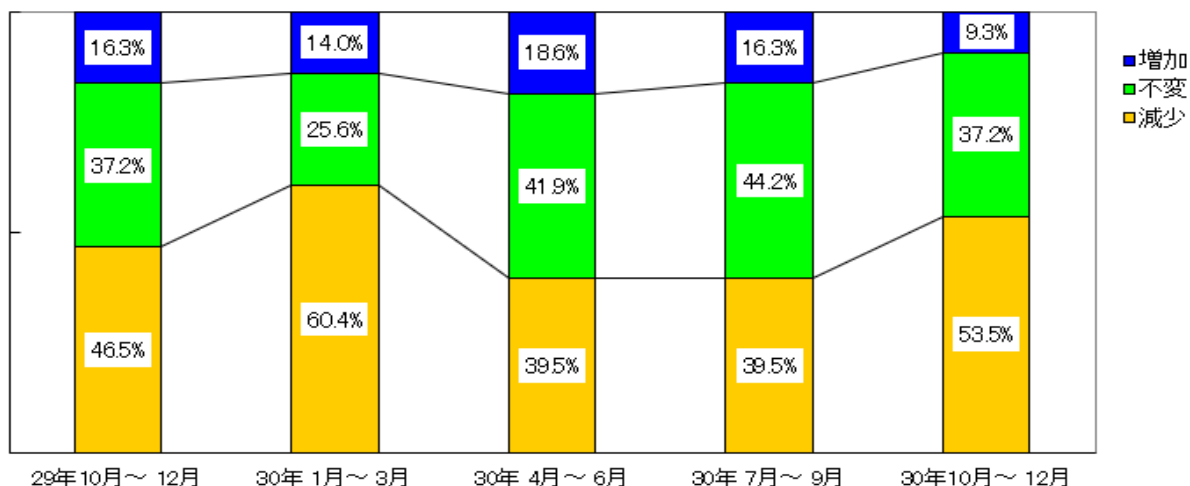
「材料価格の上昇」・「下請業者の確保難」の割合が減少し、「材料費・人件費以外の経費の増加」・「従業員の確保難」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」7.4%(前期は7.4%、前年同期は3.8%)、「不変」85.2%(前期は85.2%、前年同期は96.2%)、「悪化」7.4%(前期は7.4%、前年同期は0.0%)

## 4 山口県 小売業

### 1 売上額の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-3→shtG003



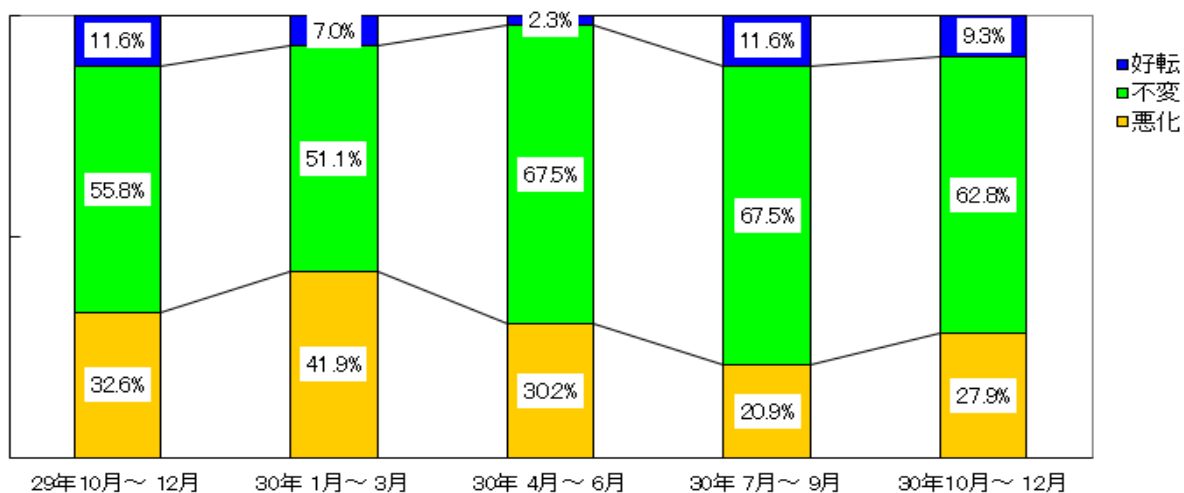
**前期と比較** 「増加」19.0% (前期は 35.7%、前年同期は 22.0%)、「不変」35.7% (前期は 45.3%、前年同期は 36.6%)、「減少」45.3% (前期は 19.0%、前年同期は 41.4%)

**来期見通し** 「好転」11.6% (前期は 4.7%、前年同期は 7.0%)、「不変」51.2% (前期は 53.4%、前年同期は 44.2%)、「悪化」37.2% (前期は 41.9%、前年同期は 48.8%)

**その他のDI値** 客単価-16.3 (前期は-7.0、前年同期は-7.0)、客数-41.8 (前期は-33.4、前年同期は-44.2)、商品仕入単価 9.3 (前期は 14.0、前年同期は 16.3)

### 2 採算の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-3→shtG004



**来期見通し** 「好転」9.5% (前期は 0.0%、前年同期は 2.3%)、「不変」71.5% (前期は 67.4%、前年同期は 72.1%)、「悪化」19.0% (前期は 32.6%、前年同期は 25.6%)

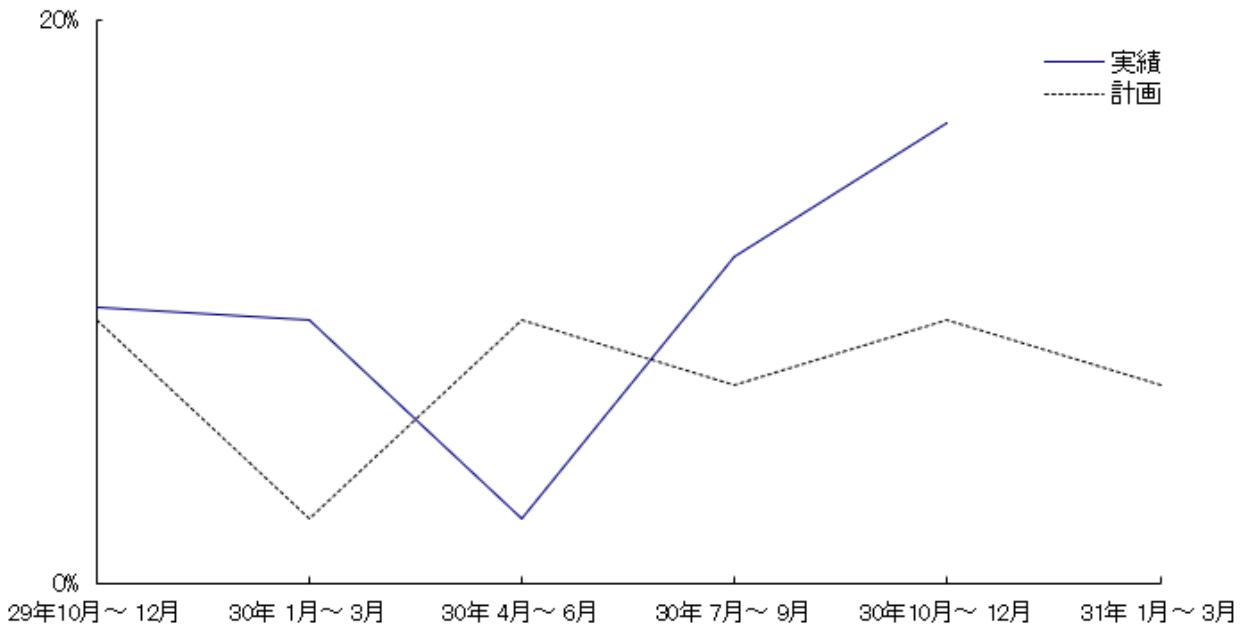
**資金繰り** **前期と比較**で、「好転」4.7% (前期は 7.1%、前年同期は 5.1%)、「不変」74.4% (前期は 83.4%、前年同期は 71.8%)、「悪化」20.9% (前期は 9.5%、前年同期は 23.1%)

**来期見通し** 「好転」0.0% (前期は 0.0%、前年同期は 0.0%)、「不変」83.3% (前期は 86.0%、前年同期は 83.3%)、「悪化」16.7% (前期は 14.0%、前年同期は 16.7%)



### 3 設備投資の状況

35 山口県→G35 山口県-3→shtG005



今期に新規設備投資を実施した企業7社(店舗1、販売設備1、車両・運搬具1、付帯設備3、OA機器1、福利厚生施設1、その他1)、実施しなかった企業36社。来期に設備投資を予定している企業3社(販売設備1、車両・運搬具1、付帯施設1、OA機器3、福利厚生施設1)、予定していない企業40社。

### 4 経営上の問題点の状況(1位と1～3位)

35 山口県→G35 山口県-3→shtG006



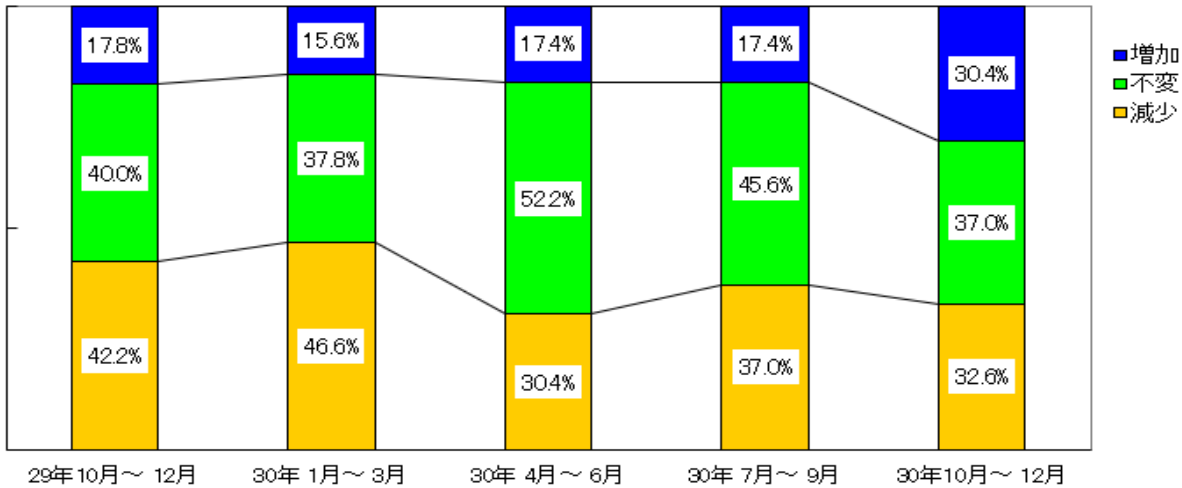
「消費者ニーズの変化」・「購買力の他地域への流出」の割合が減少し、「需要の停滞」・「大型店・中型店の進出による競争の激化」が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」0.0%(前期は 0.0%、前年同期は 0.0%)、「不変」100.0%(前期は 97.0%、前年同期は 89.7%)、「悪化」0.0%(前期は 3.0%、前年同期は 10.3%)

## 5 山口県 サービス業

### 1 売上額の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-4→shtG003



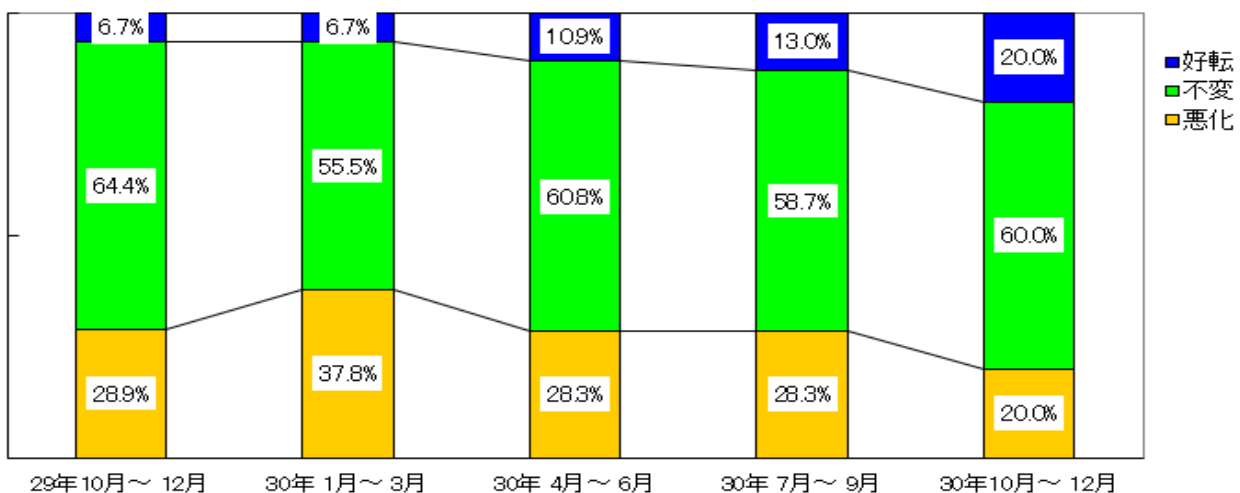
**前期と比較** 「増加」27.3% (前期は 30.4%、前年同期は 15.6%)、「不変」45.4% (前期は 34.8%、前年同期は 48.8%)、「減少」27.3% (前期は 34.8%、前年同期は 35.6%)

**来期見通し** 「好転」13.6% (前期は 8.7%、前年同期は 10.9%)、「不変」63.7% (前期は 67.4%、前年同期は 54.3%)、「悪化」22.7% (前期は 23.9%、前年同期は 34.8%)

**その他のDI値** 客単価-4.3 (前期は-4.3、前年同期は-15.6)、利用客数-6.5 (前期は-17.4、前年同期は-40.0)

### 2 採算の状況－前年同期比－

35 山口県→G35 山口県-4→shtG004



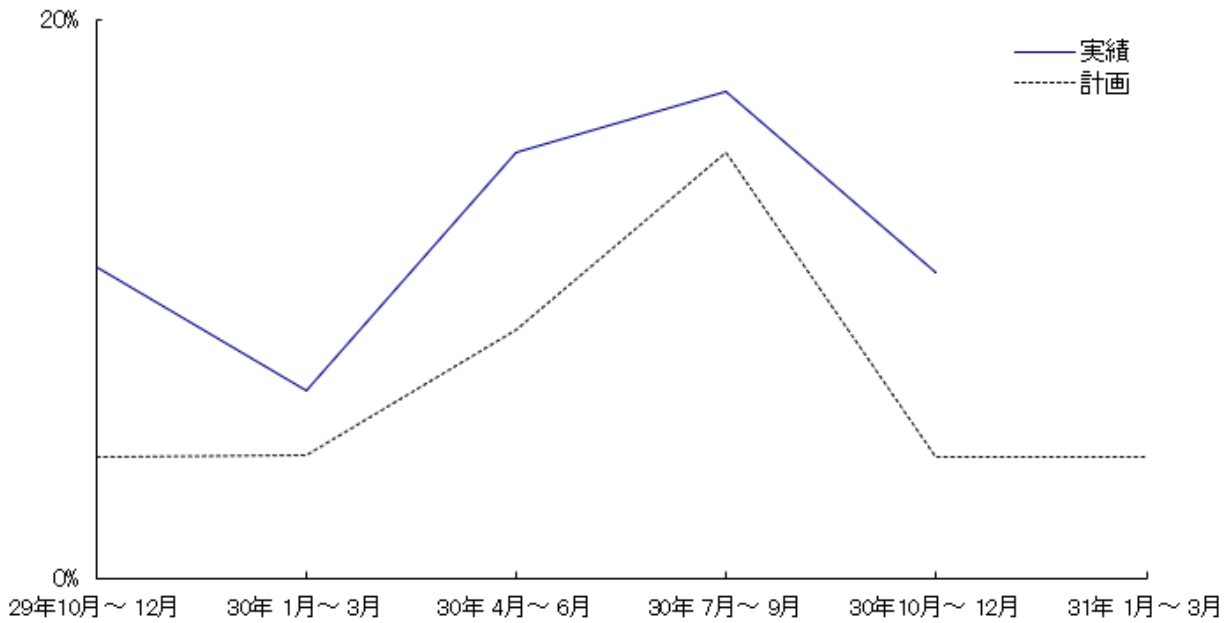
**来期見通し** 「好転」8.7% (前期は 6.5%、前年同期は 4.4%)、「不変」73.9% (前期は 69.6%、前年同期は 68.9%)、「悪化」17.4% (前期は 23.9%、前年同期は 26.7%)

**資金繰り** **前期と比較**で、「好転」4.5% (前期は 6.7%、前年同期は 6.8%)、「不変」84.1% (前期は 68.9%、前年同期は 79.6%)、「悪化」11.4% (前期は 24.4%、前年同期は 13.6%)。

**来期見通し** 「好転」4.5% (前期は 4.3%、前年同期は 4.3%)、「不変」81.9% (前期は 80.5%、前年同期は 78.3%)、「悪化」13.6% (前期は 15.2%、前年同期は 17.4%)

### 3 設備投資の状況

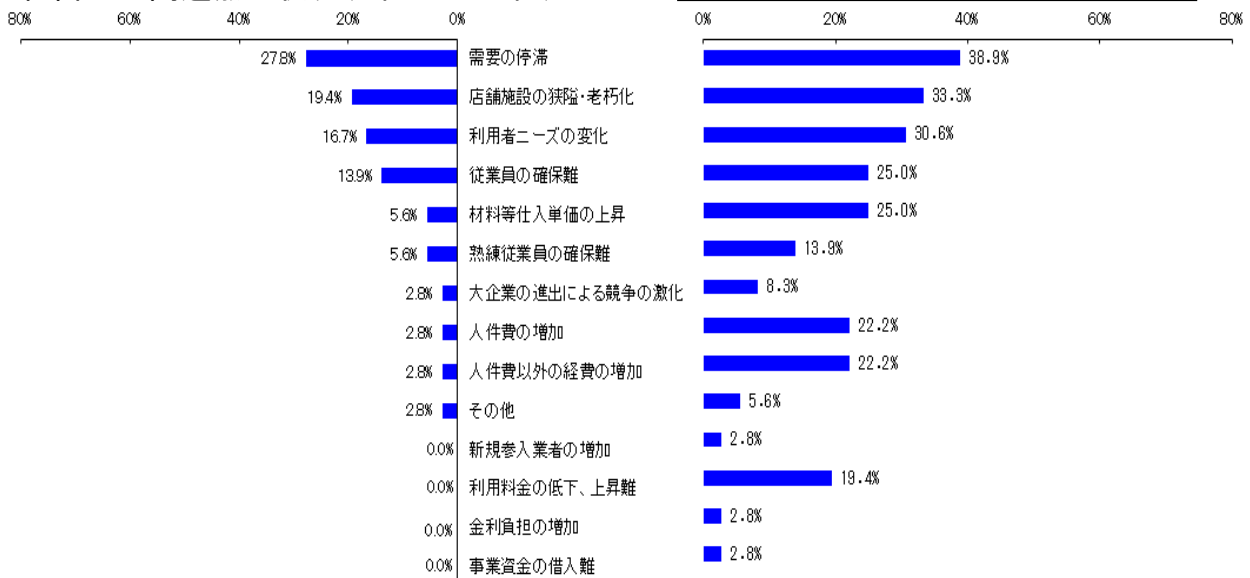
35 山口県→G35 山口県-4→shtG005



今期に新規設備投資を実施した企業 5 社(土地 1、建物 1、サービス 3、付帯施設 1、OA機器 2)、実施しなかった企業 41 社。来期に設備投資を予定している企業 2 社(建物 1、付帯施設 1、その他 1)、予定していない企業 44 社。

### 4 経営上の問題点の状況(1位と1～3位)

35 山口県→G35 山口県-4→shtG006



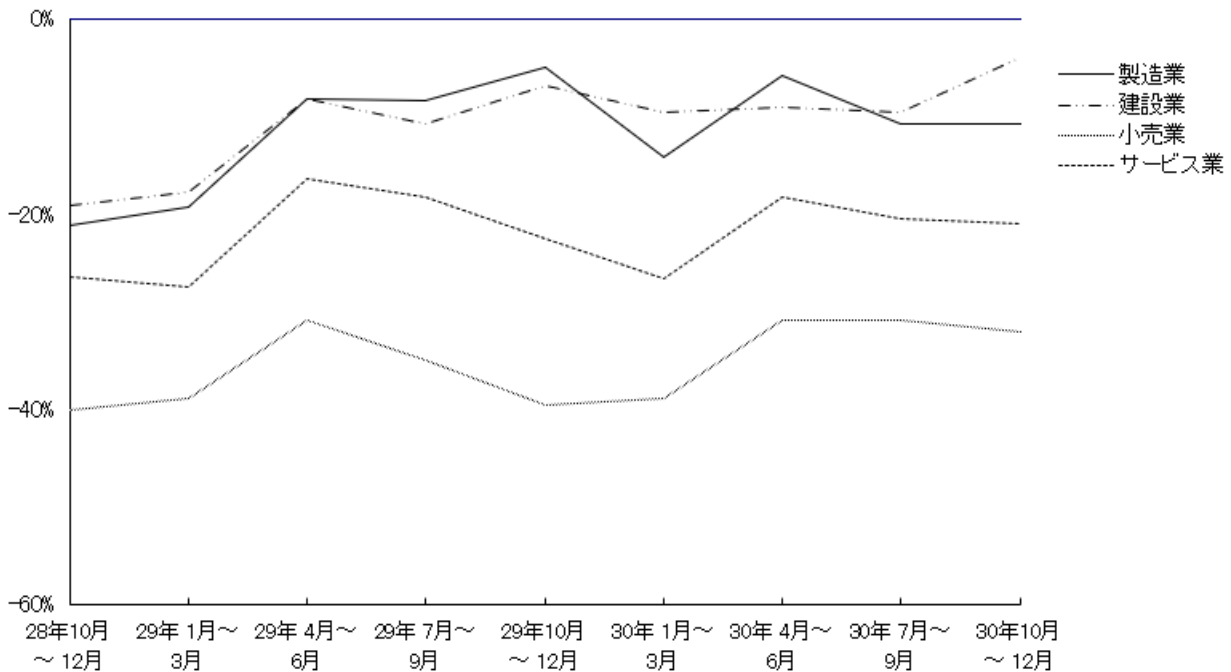
「利用料金の低下、上昇難」・「材料等仕入単価の上昇」の割合が減少し、「店舗施設の狭隘・老朽化」・「利用者ニーズの変化」が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で「好転」0.0%(前期は 3.1%、前年同期は 0.0%)、「不変」93.7%(前期は 93.8%、前年同期は 91.7%)、「悪化」6.3%(前期は 3.1%、前年同期は 8.3%)

## 6. 全国 全産業

### 1 売上(完成工事)額の推移—前年同期比—

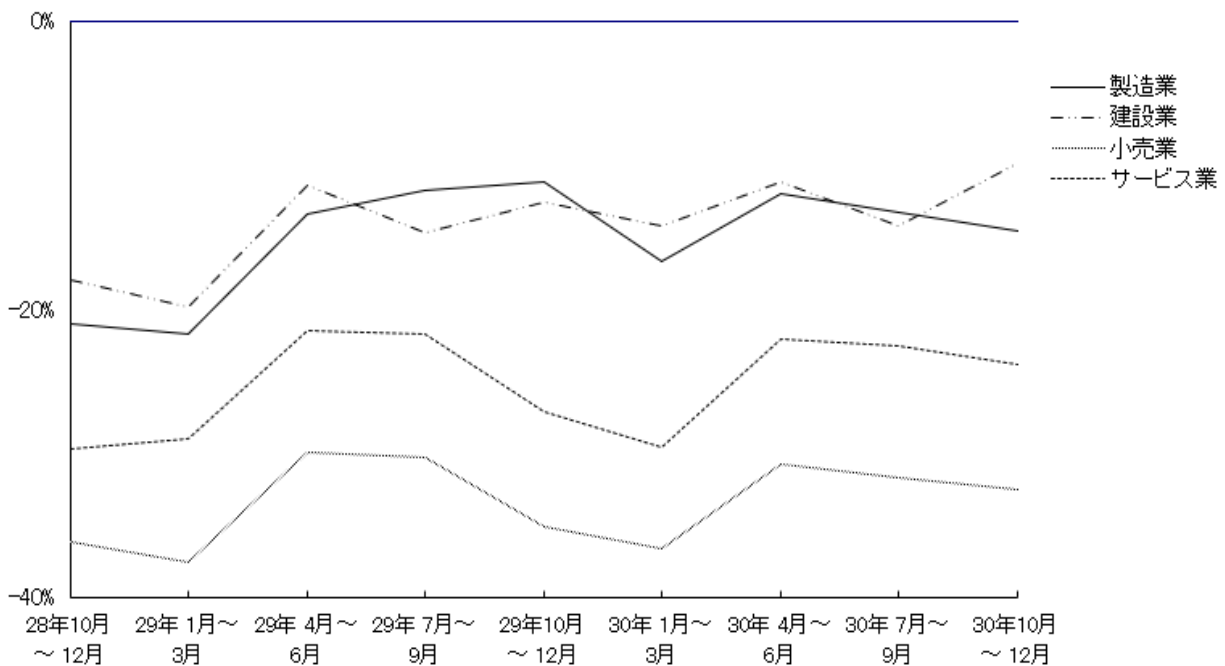
99-全国→G99-全国 9→shtG001



DI値 製造業 -10.9(前期は-10.8、前年同期は-5.0)、建設業 -4.0(前期は-9.7、前年同期は-6.9)、小売業 -32.2(前期は-30.9、前年同期は-39.6)、サービス業 -21.1(前期は-20.5、前年同期は-22.6)

### 2 採算の推移—前年同期比—

99-全国→G99-全国 9→shtG002



DI値 製造業 -14.6(前期は-13.3、前年同期は-11.2)、建設業 -9.9(前期は-14.3、前年同期は-12.6)、小売業 -32.5(前期は-31.7、前年同期は-35.1)、サービス業 -23.9(前期は-22.6、前年同期は-27.1)

## 7. 山口県 調査対象企業の声

### ■製造業■

- 主要取引先の動向が懸念される。
- 需要が長期停滞する中で、廃業する同業者が出てきている。そこが抱えていた仕事が当社に流れてきて需要が微増となっている。今後、この流れで増えていくが、需要そのものはあまり増えてこないだろう。
- 設備・修理が重なり、支出が多くなる。参入業者の増加で生産高の減少がある。
- 設備投資で効率が上がって、機会ロスで悩んでいたのが少し良くなった。知名度も上がってきたので商品が売れるようになった。
- 人口減少・嗜好の変化・単価の低下などに変化有り。もう少し、もう少し人口が増えるといいです。
- 3ヶ月平均で売上げを見るとあまり大きな変動はない。定期的な仕事が続けば良いが、なかなか先の動きは見えないので不安はいつもある。材料の仕入が現金、しかも、取引条件が難しくなっている。
- 従業員について、生産現場の不足が常態化している。採算については、原材料価格の上昇があるものの値上げ等の対応がスムーズにできている。

### ■建設業■

- 今年の7月に災害がおきたため、復旧工事が多かった。来年は公共工事が出るか不安である。
- 材料価格の上昇により利益の拡大が進まなくなっている。
- 昨年よりハウスメーカーの下請けとして受注が入るようになり、経営は安定している。
- 下請を頼んでも、今は社会保険に加入している下請さんしか使えないので、おのずと単価の上昇につながってきます。それで下請価格の上昇になって利益を上げる事が難しくなっています。
- 公共工事の発注が少ない見通しです。途切れないようしっかり次を探して、仕事にも営業にも力を入れたいと思います。
- 公共工事の減少、発注が無し。
- 受注は前年の60%迄減少し、現状は官公需の見通しが立たない。同業他社と受注競争を行わないと地場中小は生き残れない。この状況が続けば地域に留まる事が難しく、軋轢を覚悟し他地区に出ていくかの判断に迷う。
- 公共工事の低迷で、外へ出て下請の仕事ばかりになっているので、経費がかかるのと、割に合うかよく検討する必要がある、なかなか売り上げは伸びません。現場の進行はスムーズなので回っていつているが……というところです。

## ■小売業■

- 人口減、高齢化で消費が低迷。安価な物を求める傾向。当たり前の価格での販売が難しい。スーパー等の販売競争に巻き込まれないように付加価値の高い商品の仕入等に力を入れるようにしている。
- 仕入価格の上昇により、販売価格を上昇せざるを得ない状況になり、客数が減少。売上は伸びるが利益がなかなかついてこない状況です。
- 消費者の高齢化に伴う購買力の低下。
- 御歳暮などのギフトのニーズの変化。
- 人口減少による購読者減少(若者の新聞離れ、パソコン等に依る情報入手、高齢者の目の悪化等)。
- わりと暖かい秋なので灯油の需要が例年よりも遅い。
- 新聞の新規購読者は増えないが、高齢化により一人ずつ一人ずつ顧客が減っていく。
- 高齢化、過疎化。
- 小学生は皆ホームセンターで購入するから全然ダメ。中学生はスクールバス通で、高校生はホームセンターで安物車購入。一般の人は乗らなくなった。
- 31年10月からの消費税アップは、中小企業にとりましては化粧品の単価引下げはどなたも考えておられる。お客様は、安い化粧品、更に値引きされる店(大型店、ドラッグストア等)に行かれる人が多く、いかに入りやすい店にするか、ご指導がいただきたい。

## ■サービス業■

- 地域の個々の観光施設がバラバラに情報発信するのでなく、年2回、できれば春夏秋冬と年4回は集客につながるような発信をまとめた形ですべきだと思う。
- お客様の高齢化により、利用が減少し、今期と来期は悪化すると予想している。燃料代の経費も影響するだろう。来年の消費税率アップはさらにトリプルパンチになってしまうだろうと思っている。
- 今年は、夏暑かったせい気候の変化で消費者の選ぶメニューが変わり売上が伸びなかった。
- 台風でイベント中止が多かったが、「しかたないので食事でも行くか」と、お客様が流れてくれたと思います。悪天候が少なく秋の行楽で人が多く動いてくれました。
- 7月の広島・岡山・山口県の大規模災害による利用者の大幅な減少で売上が伸びず、仕入単価が災害で高騰。料理単価で値上げをしたが飲代が減少したため不変。資金繰りがうまくいかず短期借入金が増加し返済困難です。
- 山口ゆめ花博へ行った人が多かったのですが、秋の行楽客が少なかった。
- 地域内唯一のタクシーが廃業となるので、高齢者の来店がどうなるか不安。